

や



焼津市

いづふあつしよん 【焼津ファッション】



クールビズには、小粋に魚河岸シャツ 焼津市

元々は手ぬぐい生地を縫い合わせたもので、漁師の普段着として愛用されていた魚河岸シャツ。日本屈指の水揚げ量を誇る焼津で、漁師文化として定着し、いつしか「焼津ファッション」として親しまれるようになった。今では速乾性、吸湿性など優れた機能性に加えて、伝統柄ならではの小粋さとポップな色使いがかかもすモダンさが相まって、老若男女問わず、焼津市民にとって夏の定番になっている。120年続く老舗「高橋染物店」の店頭も、夏になれば子ども用から大人用まで、魚河岸シャツが山積みになる。「^{ちゆうせん}注染」という伝統技法で綿100%のさらしやゆかた生地を染めるのですが、プリントと違って布目をふさぐことなく染められるので風通しがす

ごく良いし、胸元が広めに開いているので涼しい。何よりこの魚河岸柄が夏の海にはぴったりでしょ？」と店主の高橋浩之さん。地元の人がこよなく愛する「焼津ファッション」。この夏、粋に着こなしてみたいくなった。



伝統技法で染めるシャツで焼津文化を発信

高橋染物店

Note

〒425-0031 静岡県焼津市小川新町1-12-10 ☎054-628-2554

営業時間 / 9:00~19:00 定休日 / 不定休 <http://somechan.com>



東名高速 焼津ICより約15分



大漁旗をはじめ、暖簾や手ぬぐいなどを染める染元。3代目の浩之さんは、魚河岸シャツの魅力を正しく伝えたいと願う、地元の商店や仲間と共に魚河岸シャツの協同組合発足に向けて準備中。注染であることや、さらしもしくは綿100%の生地であること、魚河岸の柄が入っていることなどの定義を策定し、伝統の魚河岸シャツを守り「海の町・焼津」を広めるきっかけになれば」と活動をスタートした。ちなみに東名高速・日本坂PA(上り)でも夏期限定(2012年は8月31日までの予定)で販売しているので立ち寄ってみよう。

